SLYDIFIでらくらくスライド作成

monaqa

GitHub: https://github.com/monaqa

2021年6月6日

SLYDIFIの機能

フレーム作成

- フレーム:スライド資料の1ページ1ページに値するもの
- SL_YDIF_Iでは3種類のフレームを区別する
 - 見出し:スライド全体の題目,発表者名などを載せるフレーム
 - セクション見出し: セクションのタイトルを載せる
 - 本文:通常のフレーム

テキストの記述

以下のようなコマンドを用いてテキストを記述できる.

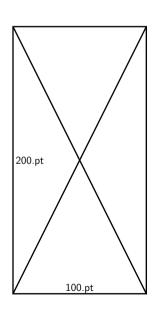
- +p{}: 段落
- +listing{}: 番号のない箇条書き
- +enumerate{}: 番号付きの箇条書き

さらに、インラインテキストの中では以下のマークアップが使える.

- \emph{}: 強調
- \text-color(){}: 文字色変更

図表の貼り付け(FigBox モジュール)

- 例: +fig-center(FigBox.include-image 80pt `path/to/image.jpg`);
 - FigBox.include-image:画像 (PDF/JPEG) を指定幅で読み込む
 - +fig-center:読み込んだ図を中央揃えで配置
- その他にも様々な読み込み用の関数や配置コマンドが用意されている
 - dummy-box:指定されたサイズのダミーボックス
 - hmargin:水平方向に指定された量の余白を付ける
 - vconcat:鉛直方向に図を結合
 - \fig-inline:テキスト中 online に画像を出力
 - +fig-on-right:画像を右に、本文を左に配置



SLYDIFIでオーバーレイ

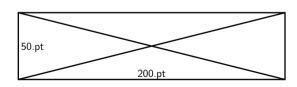
オーバーレイの例 (1/4)

この段落は常に表示される.

オプション引数を指定して、今何枚目かに応じて表示を出し分けられる. この段落は1,2枚目のときのみ表示される段落.

これは3枚目以外のときに表示される段落.

これは1,4枚目のときのみ表示される段落.



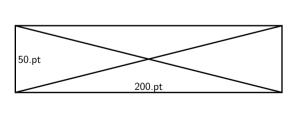
オーバーレイの例 (2/4)

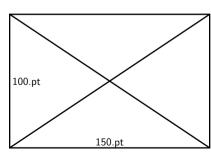
この段落は常に表示される.

オプション引数を指定して、今何枚目かに応じて表示を出し分けられる. この段落は1,2枚目のときのみ表示される段落.

これは2,3枚目のときのみ表示される段落.

これは3枚目以外のときに表示される段落.

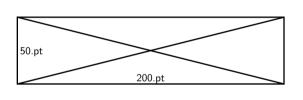


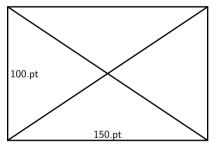


オーバーレイの例 (3/4)

この段落は常に表示される.

これは2,3枚目のときのみ表示される段落.



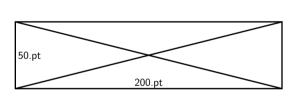


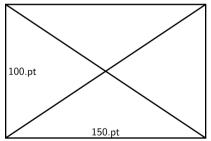
オーバーレイの例 (4/4)

この段落は常に表示される.

これは3枚目以外のときに表示される段落.

これは1,4枚目のときのみ表示される段落.





実際には、オーバーレイは上から順に表示させる用途で用いられることが多い。

実際には、オーバーレイは上から順に表示させる用途で用いられることが多い。

そのような需要に簡潔に応えるために +show-in-order というコマンドが用意されている.

実際には、オーバーレイは上から順に表示させる用途で用いられることが多い。

そのような需要に簡潔に応えるために +show-in-order というコマンドが用意されている。

+show-in-order: [block-text list] block-cmd

実際には、オーバーレイは上から順に表示させる用途で用いられることが多い。

そのような需要に簡潔に応えるために +show-in-order というコマンドが用意されている。

+show-in-order: [block-text list] block-cmd

順に表示させたいブロックテキストの列を与えれば、順々に表示してくれる.